

外部ヒアリング実施に関するアンケート結果（仕分け委員）

1. 説明資料として配付された「事業概要調書」の記載内容について、どう思われましたか。

1. 概ね適切である	13 人	86.7%
2. 適切でない	2 人	13.3%
3. わからない	0 人	0.0%
合 計	15 人	100.0%

【理由】

1. 概ね適切である

- ・事業の大体の内容は分かる。
- ・もう少し事業内容が事前にイメージできる方が助かります。
- ・あまり多くの資料より簡潔でよい。
- ・前年度、今年度収支についてよく分からない部分もあったが、職員の説明がよかった。
- ・概ね適切であるが、各事業の収支決算表等があればもっと分かりやすかった。
- ・まとまっていて分かりやすい。
- ・判断に必要なポイントが明確に整理されており理解し易い。
- ・概要を把握するのに丁度良い情報量でした。
- ・必要なことが分かりやすくまとめられていたと思う。
- ・行政に関わらない人から見て、内容が分からないところがある。

2. 適切でない

- ・何をチェックすべきなのか、概要調書の記載範囲が広すぎてポイントが分かりづらい。

2. 事業に対する村職員の説明の仕方、質疑等に対する応答について、どう思われましたか。

1. 概ね適切である	13 人	86.7%
2. 適切でない	2 人	13.3%
合 計	15 人	100.0%

【理由】

1. 概ね適切である

- ・良い。日頃から住民のことを考え仕事をされていると思います。
- ・自分の仕事について責任をもっていると思われる。
- ・適切だった。
- ・概ね適切であったが、一部事業について、その業務内容をは把握していないのではないかと説明もあった。
- ・職員の説明がもう少し簡潔にしてほしい。質問にYESかNOか、その後に説明をしてほしい。
- ・分かりやすい方もいれば分かりにくい方もいますが、概ね理解しました。
- ・要領よく短時間でポイントを押さえたプレゼンでした。質疑応答も建設的なやりとりで良かったと思います。
- ・質問に対する応答について、質疑の意図から若干ずれた回答もあったように思いましたが、答えに詰まるという場面はなくスムーズに進んだように思います。
- ・もう少し自分の業務を把握して欲しいと思う場面もありました。
- ・分かりやすい説明でした。
- ・内容説明がよかった。

2. 適切でない

- ・職員、事業による違いが大きい。基礎資料が不足していた。

3. 仕分け作業で用いた「チェックシート」について、どう思われましたか。

1. 概ね適切である	13人	86.7%
2. 適切でない	2人	13.3%
合計	15人	100.0%

【理由】

1. 概ね適切である

- ・③と④、④と⑤で、どちらの区分になるか分からない時があった。
- ・自分ではちょっと物足りないと思ったが、迷わなくても良いのでいいと思った。
- ・理解したが記入の時間が足りなかった。
- ・結論を出すのに考え方の整理がし易く、良くできていると思います。
- ・ただ理由を記載するだけでなく、方向性が示されている中からの選択式だったので、書きやすかったです。
- ・チェックの振り分けが分かりづらい。

2. 適切でない

- ・仕分け区分を少なくして、その分、仕分け理由を多くした方がよいと思う。
- ・選ぶのに悩みました。

4. 今回の外部ヒアリングに参加してのご意見、ご感想等を自由にご記入ください。

- ・いろいろな事業内容を聞け、自分の意見を言える事が少ないので、今後もこういう場を持つて欲しいと思います。
- ・村の代表の住民の方がしっかり意見を述べていたので、役場の職員の説明より分かりやすかった。
- ・コーディネーターが上手に進めてくれたので、やりやすかった。
- ・ヒアリングのスケジュール、会場内の配置等が効率的である。
- ・自由に自分の意見が言えたので、機会があればまた、参加したいと思った。
- ・自分だけの視野だけでなく、学識経験者やコーディネーター、他の委員の意見も聞けて大変参考になった。内部評価だけだったシステムに外部評価が割って入り込む大変、興味のあるシステムで、これが活かされる事を期待します。
- ・村内に居ると内部の事情が分かる分、内に意見がこもりやすいが、外部のコーディネーター、学識経験者の方の意見は新鮮でした。自分にとっても今回の外部ヒアリングは、とても意義のあるものでした。自分の生活する村が少しでも明るく、住みやすい村になれば良いですので、是非、今回のヒアリングを活かして頂きたいです。
- ・多様な意見、視点の提示があり、大変、建設的な意見交換ができたと思います。委員構成もバランスがとれており、大変、有意義な議論ができ楽しかったです。ありがとうございました。
- ・今回、5つの事業についてヒアリングを行いました。目的が重なる事業があったように思いました。今後、限られた予算と人員で行政運営を行っていくためには、課の枠を超えた事業の見直しを行い、効率的に事業を進めていくことが必要ではないかと思いました。
- ・今後の自分の業務においても参考になりました。仕分け区分が同じでも、それぞれの理由が違い、様々な意見を聞くことができ楽しかったです。事務局の皆さまお疲れ様でした。
- ・行政のルールにとらわれず、自由な発想で職員が役割分担される事を望みます。常に挑戦する精神を忘れずに、小さな村、小さな行政だから出来ることを発言発信して行きましょう。
- ・事業種目について物足りない。ハード事業、特に国・県の補助事業等について議論したかった。
- ・外部ヒアリングに対する姿勢が職員によって違う。外部ヒアリングに提出した問題が馴染まないにとらわれている職員もあり、質疑に対する回答が「言い訳」になってしまい要領を得なかった。この外部ヒアリングがプレゼンテーション力のアップにつながれば幸い。ありがとうございました。
- ・補助を受ける団体の活動状況や収支の状況をもっと詳しく資料にしないと、質疑に時間が掛かりすぎる。事前に勉強会を行うべきでないか。説明者が団体の内部の状況をもっと把握すべ

きである。

- 大変、勉強になったし、参加して面白かった。第三者として発見した意見も村職員の方々に少しでもお役に立てれば… と思っております。貴重な体験、ありがとうございました。
- 今回のこのヒアリングが良い方向にいくよう願います。